

令和4年度採用

群馬県公立学校教員選考試験問題

中学校（英語）

受験番号		氏名	
------	--	----	--

注意事項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから5ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と解答用紙の両方を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

1 次の(1)～(6)は、日本人英語教師 (JTE)と外国語指導助手 (ALT)との会話である。空欄に当てはまる最も適切な語句を、次のア～エから、それぞれ1つ選んで記号で答えなさい。

(1)

ALT : Mr. Tanaka is, so to speak, a ( ). I always ask him when I have questions.

JTE : You mean he knows a lot of things well, right?

ア wild horse      イ frog in the well      ウ worker bee      エ walking dictionary

(2)

ALT : Do you know "Birds of a feather flock together" in Japanese?

JTE : I'm sorry. I don't know ( ) well.

ア idioms      イ proverbs      ウ quotations      エ tales

(3)

JTE : I forgot to mark the tests yesterday. I told students I would return them today.

ALT : You should keep your ( ) for good relationships with students.

ア mind      イ word      ウ idea      エ side

(4)

JTE : Thank you for listening to students' speeches.

Your comments are ( ) for students.

ALT : I'm deeply impressed with them.

ア inadequate      イ stimulating      ウ ceaseless      エ tenacious

(5)

JTE : The speaker was not only ( ) but he was humorous.

ALT : I think so, too. I enjoyed his speech so much.

ア monotonous      イ incoherent      ウ sprawling      エ articulate

(6)

ALT : Mr. Tanaka, there are some points in tomorrow's lesson plan that I didn't understand.

JTE : Let me know about them. I'll ( ) them and make a plan again.

ア clarify      イ quantify      ウ identify      エ purify

2 第3学年で「災害時の行動について発表しよう」という単元について、授業を以下のように構想した。後の(1)～(3)の問いに答えなさい。

○全7時間計画 ○新出言語材料 ・疑問詞 + to 不定詞 ・ It + be 動詞 + ～ (for + 人) + to 不定詞
〈単元の課題〉 地震が少ないオーストラリアの姉妹校の友人が、本市でのホームステイに安心して参加できるように、日本で地震が起こった時の行動をまとめて伝えよう。

〈評価規準（話すこと〔発表〕の評価規準）〉

知識・技能（知）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
[知識] 新出言語材料の特徴や決まりを理解している。 [技能] 新出言語材料を用いて伝える技能を身に付けている。	日本で地震が起こった時の行動について、オーストラリアの友人が分かるよう伝えている。	日本で地震が起こった時の行動について、オーストラリアの友人が分かるよう伝えようとしている。

〈指導と評価の計画〉

○は記録に残す評価

時	主な学習活動	知	思	態
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーストラリアの姉妹校の生徒とオンラインでつなぎ、やり取りする。</li> <li>・地震発生時の行動について、既習表現を使ってペアで伝え合ってみる。</li> </ul>			
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書を読み、地震発生時の行動についてメモにまとめる。</li> </ul>			
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「疑問詞 + to 不定詞」の用法を理解する。</li> <li>・過去の地震が発生した時の行動についての英文を読み、メモをまとめ直す。</li> </ul>	○		
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「It + be 動詞 + ～ (for + 人) + to 不定詞」の用法を理解する。</li> <li>・ALTの体験談を聞いたり、インターネットで地震発生時の行動についての英文を読んだりして、メモをまとめ直し、ペアで伝え合う。</li> </ul>			
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メモを参考にグループで発表し合い、発表内容を言語面と内容面で修正する。</li> </ul>		○	○
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーストラリアの友人に伝える内容をグループでまとめる。</li> </ul>			
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインでつなぎ、グループごとにオーストラリアの友人に地震発生時の行動について伝え、質問等に答える。</li> </ul>		○	○
後日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペーパーテスト</li> </ul>	○		

- (1) 1時間目において、ホームステイで日本を訪れるオーストラリアの姉妹校とオンラインでつなぎ、以下のようなやり取りを行った。後の①、②の問いに答えなさい。

<オーストラリアの生徒(A)と日本の英語教師(JTE)、日本の生徒(S)とのやり取り>  
～オーストラリアの姉妹校とオンラインで～

A : Hello. My name is Emily. Can you see and hear me?

S : Yes, yes!! Hello, Emily.

A : Next year, we really hope that we can visit your city.

S : I'm looking forward to seeing you. Do you worry about Japanese life?

A : Yes, we do. We worry about the big earthquakes in Japan.

There are few earthquakes in Australia.

S : Really! Do you have any other natural disasters in Australia?

A : Yes. We had a flood in my city.

S : What is a flood?

JTE :

S : I see.

A : I have experienced an earthquake in my city, but it was very short and small. So that was OK.

If a big earthquake happens in Japan, we don't know what to do.

JTE : Next year, they will come to our city. If a big earthquake happens, they will have many problems. What can we do for them?

- ① このように、単元の課題に関する人物とオンラインで直接話すことの利点について、日本語で述べなさい。

- ② やり取りの内容を踏まえ、空欄(ア)に入る英語を書きなさい。

- (2) 4時間目において、新出言語材料を理解させたい場面で、ALTと英語教師(JTE)、生徒の間で以下のようなやり取りを行った。後の①～④の問いに答えなさい。

<ALTと英語教師(JTE)、生徒(S)とのやり取り>

JTE : Please tell us about your country's natural disasters.

ALT : In my country, we have many disasters. The most dangerous natural disaster is a tornado.

S : (イ) I have readed the book written about it.

ALT : Great. I know what to do when it happens but I don't know what to do when a big earthquake happens.

JTE : When it happens, do you know what to do first?

S : Cover your head first, and go under the table.

ALT : That's right. (ウ) It is important for us to cover our head and go under the table, right?

S : Yes yes! That's important!

Any other troubles?

ALT : Yes. After the earthquake, I don't know where to go.

S : Go to the shelter. For example, schools, parks, or the City Hall.

JTE : That's right. Whole sentence, please.

S :

JTE : Good job! Any other troubles?

ALT : Yes, I have more. ...

- ① このように「授業を英語で行う」目的は何か。日本語で2つ答えなさい。

- ② 下線部 (イ) において、生徒の発話に誤りが見られた。この誤りをしないようにするため、この後、どのような活動を行うか日本語で書きなさい。
- ③ 下線部 (ウ) において、教師は生徒の発言を新出言語材料を使って言い換えた。この指導の意図は何か。日本語で書きなさい。
- ④ やり取りの内容を踏まえ、空欄 (エ) に入る生徒に言わせたい英語を書きなさい。
- (3) 後日行うペーパーテストにおいて、「知識・技能」の観点を評価する問題 A を作成したところ、同僚のベテラン英語教師からアドバイスを受け、問題 B に作り直した。問題 B に作り直した意図を「知識・技能」の評価の面から日本語で書きなさい。

A	<p>( ) の中に適する英語を書きなさい。</p> <p>I don't know ( ) to ( ) it.</p> <p>私はその使い方がわからない。</p>
---	---

B	<p>( ) の中に適する英語を書きなさい。</p> <p>A : This is <i>konnyaku</i>. Have you ever eaten it?</p> <p>B : Yes. But, I don't know ( ) to ( ) it.</p> <p>A : It is at any supermarket.</p>
---	--

3 次の英文を読んで、後の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 下線部 (ア)、(イ) について、本文の内容を踏まえ、日本語で書きなさい。

(2) 下線部 (ウ) を日本語にしなさい。

4 次の英文を読んで、後の(1)～(6)の問いに答えなさい。

(1) 下線部 (ア) を日本語にしなさい。

(2) 下線部 (イ) が意味する職業に含まれるものを次の中から1つ選んで番号を書きなさい。

① astronaut ② carpenter ③ politician ④ police ⑤ teacher

(3) 下線部 (ウ) が意味することについて、本文の内容を踏まえ、日本語で書きなさい。

(4) 下線部 (エ) が意味することについて、本文の内容を踏まえ、30語以内の英語で書きなさい。  
ただし、「habit」を使用すること。

(5) 下線部 (オ) が意味することについて、具体例を35語以内の英語で書きなさい。

(6) 次の①～⑤の英文について、本文の内容に合うものを1つ選んで番号を書きなさい。

- ① Our character is not connected to our habits or behavior because it is decided when we are born.
- ② Astronauts are effective because they know how to stop bad habits from forming.
- ③ The gravity pull of bad habits is stronger than the willpower to form effective habits.
- ④ The author believes that Horace Mann was not totally correct because habits can be broken.
- ⑤ It is hard to make effective habits once you are an adult because most effective people put so much effort into forming them as children.

英語 解答用紙	2枚中の1	受験番号		氏名	
---------	-------	------	--	----	--

(4年)

1

(1)		(2)		(3)		(4)		(5)		(6)	
-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--

2

(1)

①	
---	--

②	
---	--

(2)

①	

②	
---	--

③	
---	--

④	
---	--

(3)

--	--

3

(1)

(ア)	
-----	--

(イ)	
-----	--

(2)

--	--

英語 解答用紙	2 枚中の 2	受験番号		氏名	
---------	---------	------	--	----	--

(4年)

4

(1)

(2)

(3)

(4)


30

※カンマやピリオド等は数えないこととする。

(5)


35

※カンマやピリオド等は数えないこととする。

(6)



# 以下はあくまでも解答の一例です。

英語 解答用紙	2枚中の1	受験番号		氏名	
---------	-------	------	--	----	--

(4年)

1 【6点×6＝36点】

(1)	エ	(2)	イ	(3)	イ	(4)	イ	(5)	エ	(6)	ア
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---

2 【合計70点】

(1)

① 単元の課題に対して生徒の意欲を引き出し、より主体的に取り組めるようになること。 など。 【10点】

② After heavy rain, we can see too much water on the ground and it comes into our houses. など。 【10点】

(2)

①	生徒が英語に触れる機会を充実させること。 【6点】
	授業を実際のコミュニケーションの場面にすること。 【6点】

② 動詞の変化について一覧表などを用いて確認させた後、過去分詞を用いるやり取りをペアで行わせる。 など。 【10点】

③ 教師がコミュニケーションの中で新出言語材料の活用の仕方を示し、生徒に文法事項の規則性や構造などについて気付かせるようにすること。 など。 【10点】

④ It is important for us to go to the shelter. 【8点】

(3)

【例】  
「知識・技能」は、実際のコミュニケーションにおいて言語材料を活用できる力を評価することから、コミュニケーション場を設定し、文脈に沿って言語材料を活用する設問とした。 【10点】

3 【合計30点】

(1)

(ア) 生徒が書いた文章にはあまりに多くの誤りがあり、それらを全て教師が指摘することは大変な労力が伴うため、教師を疲弊させてしまうという危険性。 【10点】
(イ) その生徒がしがちな間違いに焦点を当てて、指摘し、指導すること。 【10点】

(2)

この修正すべきエラーを絞って示すやり方により、生徒は、自分が書いた文章から、自分がしやすいエラーをさがし、これらのエラーに関係した文法事項や決まりを身に付けることに集中できるようになる。 【10点】

# 以下はあくまでも解答の一例です。

英語 解答用紙	2 枚中の 2	受験番号		氏名	
---------	---------	------	--	----	--

(4 年)

4 【合計 64 点】

(1) 習慣は生活における重要な要素である。なぜなら、それらは一貫しており、無意識の行動様式にもなり、常に、日常的に我々の性格を表し、私たちが有能か有能でないかを定めるからである。  
【10 点】

(2) ⑤ 【6 点】

(3) 習慣はすぐには直せない（簡単には身に付かない）。 など。 【10 点】

(4) 【例】

When	we	want	to	change	a
habit	or	make	a	new	one
we	will	use	the	most	energy
when	we	start	to	do	it

30  
【16 点】

(5) 【例】

I	am	very	shy	When	I
make	a	speech	in	front	of
my	classmates	I	always	get	nervous
and	can't	speak	smoothly	I	want
to	change	my	personality	It's	very
difficult					

35  
【16 点】

(6) ④ 【6 点】